

受付番号

2022-35

許可番号

大歯医倫 第 111241-0 号

研究課題名

口蓋扁桃肥大が歯列弓形態と顎骨形態に及ぼす影響について

研究責任者

中山 雄司

申請者

中山 雄司

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

歯科矯正学講座

所属

歯科矯正学講座

職名

助教

職名

助教

申請の概要

矯正歯科治療を行う上で、呼吸を含めた口腔周囲筋の機能のコントロールは治療の成否に大きく関わる。とりわけ口蓋扁桃肥大により口呼吸となり口腔周囲筋の不均衡が生じ、それが長期間に及ぶと歯列弓形態や顎顔面の成長発育にも影響が生じる。しかし口蓋扁桃肥大と歯列弓形態や顎顔面形態との関連性は未だ解明されていない部分が多いのが現状である。本研究により、口蓋扁桃の肥大が歯列弓形態や顎顔面形態に及ぼす影響が明らかになれば、予測性の高い診断・治療が可能となるものと期待される。

本研究では側面頭部エックス線規格写真を用いて咽頭部の計測を行い、中咽頭に対する口蓋扁桃の割合が、30%以上であったものを口蓋扁桃肥大とし、口蓋扁桃肥大が歯列弓形態と顎顔面形態に及ぼす影響を調べる。

評価を行う手段として、模型分析、Steiner 分析、ならびに Downs 分析を行い、各計測値を算出する。得られたデータをもとに、口蓋扁桃肥大が歯列弓形態や顎骨形態に及ぼす影響について比較検討を行う。